



# 幼児が夢中になる！

## 調査研究事業の概要

本事業は文部科学省の青少年体験活動総合プラン「子ども・若者支援のための体験活動推進事業」の委託を受け、三カ年計画の一年目として実施した。

研究のねらいは観察を通して幼児期における自然体験活動プログラムの分析・考察を行い、発達段階に即したプログラムを開発すること。幼児の遊びを通して、自然の家における教育的資源(豊かな自然環境・活動エリア・専門スタッフ等)の有効性を検証することである。

自然環境と幼児の関係性を、平成二十年に告示された幼稚園教育指導要領の中では「環境」の領域3・内容の取扱(2)「幼児期において自然の持つ意味は大きく、自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接ふれる体験を通して、幼児の心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎が培われることを踏まえ、幼児が自然のかかわりを深めることができるよう工夫すること」と記載されている。

これを受け、自然の家の教育資源を生かし近隣の保育園・幼稚園と連携を図りながら調査研究を進めてきた。また事業の質を高めるために、事業

運営会議を設置し専門的視点からアドバイスを頂いている。

## 幼児の観察から見えたこと

今年度九月～十一月にかけて六つの保育園・幼稚園の観察を行った。本ページ上記の写真から分かるように、子どもたちは瞳を輝かせ生き生きと活動していた。子どもたちが自然の中で表情や動きが刻々と変化し、夢中になる様子が見られた。

### 事例一

#### 新たな発見が興味関心を高める

園庭では見られない木の実を扱う場面で、A君は指で潰そうとしたが潰れず、匂いを嗅ぎ、歯でかじって中身を確かめた。一方Bさんは木の棒ですり潰し中身を確かめた。  
「先生何これ！」と聞く。  
教師は、紫色だけど、何だろうね」と発言。  
「えさだよ」とA君が発言。教師は、そこかもしれないね。何のえさかな。後で調べてみようか」と発言。「うん！」とA君はうれしそうに答えた。隣のBさんも、私も調べる」と発言し、大切に木の実をポケットに入れた。





## 幼児の遊びを引き出す環境がここにある！

平成22年度 調査研究事業

「幼児期にふさわしい自然体験活動プログラムの開発」  
文部科学省受託事業(青少年総合プラン)

「このように新しい発見から物事に積極的に関わる姿が見られた。木の葉の中を自分なりの方法で確かめ、自分の物として最後まで扱っていく。その過程において教師が子どもの活動を認め、さらに活動を広げたり深めたりする言葉かけを行うことで、子どもたちの興味関心が深まり持続することが分かった。」

### 事例一

#### 遊びの発展が夢中にさせる

木に乗って遊ぶ子どもたちは「これ、海賊船だよ!」と船に見立てて遊んでいる。倒木を集め、船の先端に枝を重ね加工しながら俺、船長だ!、「出発するぞ!」、「これは剣だ!」

などのストーリー

リーが作られ遊びが発展していく。

このように、想いのままに自然物を使い表現することは、子どもにとって楽しい活動であり、思考力や表現力の素地が育まれる姿である。

#### 国立妙高青少年自然の家 豊かな教育資源

観察を進めていくと、自然の家には、幼児期における自然の中での遊びを促進する教育資源が豊かであることに気づく。子どもが伸び伸びと思いつき遊べる豊かな自然環境がある。子ども自身の手で作成し、遊べる自然素材(木の実や樹木など)が豊富で多様である。子どもたちは、諸感覚をフルに活用して興味関心の趣くままに夢中になって関わる。新しい発見に「喜一憂し、知ること・触れること」できることの実体験を通してさらに自然や遊びについての興味関心が高まっていく。

これらの過程の中で子どもを尊重し、意欲を引き出すような言葉かけを行い、主体的に遊べる環境作りを総合的にしていくのが援助者の役割である。

このような教育資源を生かし、より幼児にふさわしい自然体験活動の学びの場を確立していくのが自然の家の重要な役割の一つであると考え。

(事業担当 室井 修一)

### 自然との出会いが育てる豊かな感性

幼児期に自然に出会い触れることは、日頃バーチャルな情報社会にいるからこそ大切な経験であることは言うまでもない。しかし、妙高の豊かな自然にかこまれながらも家庭や地域社会、園において自然とのかかわりが薄れてきているのが現状である。

自然物はいろいろな見立てができる。そしてそこからさまざまな感覚が引き出され、いろいろな気付きを子どもたちにもたらす。この気付きこそが豊かな感性を育てるものと思う。

遊びの中で自然と一体になり、自然を生かして楽しむ体験を四季折々に繰り返していくことが幼児期には必要である。ここ妙高青少年自然の家にはそんな豊かな自然がいっぱいである。

自然の家職員と連携を図りながら、「仲間と一緒に夢になれる」そんな体験を存分にさせたいものである。



妙高市教育委員会  
園指導主事 / 宮田友子

